

平成21年度学校体育振興事業
「中学校武道必修化に向けた地域連携指導実践校」
研究報告書

学校名	あまくさしりつくらたげちゆうがっこう 天草市立倉岳中学校
-----	---------------------------------

校長名：木村臣進
所在地：熊本県天草市倉岳町棚底 2691-1
電話番号：0969-64-3389

簡単にできる新しい創作ダンスに関する研究

I 研究実践校の研究

1 学校・地域の特色及び実態

倉岳町は、天草上島の東南部に位置し、不知火海に面した自然豊かな町である。倉岳町には、幼保小中高校が1校ずつあり、その連携として「たっしゅか倉岳っ子連絡会」を立ち上げ、幼保小中高校連携活動の実践化に取り組んでいる。

本校は、「やる気・元気・根気」の3つの気を全ての教育活動で意識し、取り組んでいる。学習・部活動・生徒会活動など、素晴らしい授業を残している学校である。また、体育大会・学習発表会など生徒が主体的に行事を運営し、保護者も協力的で充実した教育環境にある。

2 学校の概要（平成21年5月1日現在）

	1年	2年	3年	特別支援学級	計	
学級数	1	1	1	1	4	
生徒数	男	13	8	17	2	40
	女	18	10	15	0	43

教員数10名（保健体育科1名）

武道・ダンスの授業状況

領域：ダンス 領域の内容：創作ダンス

	1年	2年	3年	特別支援学級	計	
配当時間	7	7	10	0	24	
配当教員数 (外部指導者)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	3 (1)	
生徒数	男	13	8	17	0	38
	女	18	10	15	0	43

II 研究の内容及び成果等

【研究の成果の要点】

ダンスの授業は、生徒にとっても指導者にとっても「楽しくて待ち遠しい授業」である。ダンス授業を終えての感想である。

今回取り組んだダンスの授業は、3年生の創作ダンス（10時間）である。今まで本格的なダンスの授業を受けたことのないダンス0歳児からスタートした3年1組32名の生徒たちが、ダンスの特性に触れ、恥ずかしさを克服し、自分を表現する力を手に入れた授業である。

また、外部指導者としてKダンス、インストラクターの福田はるか先生をお迎えし、T2として実技指導や単元計画の作成からの面で協力していただいた。

1 研究主題等

(1) 研究主題

自ら運動の喜びや楽しさを求め、生涯にわたり健やかな心と体を育む保健体育学習の在り方～学び合い、高め合い、喜び合えるダンス指導を目指して～

(2) 研究主題設定のねらい

目指す保健体育学習は、仲間とのかかわり合いの中で、その運動の特性に触れ、技能を身に付けることである。その過程の中で課題解決に向けて意欲的に取り組み、仲間と共に目標を達成した喜びを味わうことができる学習である。この学習の積み上げが、保健体育科の究極の目標である「生涯にわたって、明るく豊かな生活を営む態度」を身に付けることにつながると考える。

- ① 運動の特性に触れ、その運動の技能を互いに身に付けること・・・高め合う
- ② 個人やチームの課題を共有し解決しようとして互いに工夫すること・・・学び合う
- ③ 明確化した学習内容から到達目標を設定し、互いに達成する喜びを味わうこと（わかった・できた）・・・喜び合える

(3) 取組体制

授業については、授業研究部で担当し、基礎基本の確実な定着に向けた指導の実践や表現力の育成に力を入れている。



(4) 主な取組

平成21年度	本事業は、3年1組（男子15名・女子17名・合計32名）の生徒を対象に、10月前半から11月半ばにかけて10時間の授業時数で下記の単元計画に基づいて指導を行う。指導に当たっては、Kダンス、インストラクターの福田はるか講師を迎え、教科担任と合同で指導を行い、校内研修の一環として指導主事・中学校体育研究会及び全職員で研究授業を通し、授業改善を行う。
--------	---

2 研究内容及び具体的な研究活動

(1) 具体的な研究課題 <3つの課題>

生徒が、簡単にできる創作ダンスの授業に取り組む。具体的には、①運動課題からダンスにつなげる「新しい創作ダンス」に取り組む。また、②コミュニケーション能力や表現力の育成を図る。③ダンスの必修化に向けて教師側の意識を高め、「男子生徒がダンスを行う違和感」や「運動量が乏しい」、「男性教師によるダンス指導は難しい」などといったダンス指導へのマイナスイメージを払拭する。

(2) 取組の内容

単元は、10時間で計画し、1・2時間目はオリエンテーションを行った。3～5時間目の「学習1」は、即興表現につなげる表現を行い、6～9時間目の「学習2」は、簡単な作品づくりを行った。10時間目は発表会のビデオを視て自己評価を行った。



スポーツ名場面集の最後のポーズ

① オリエンテーション

オリエンテーション①では、ダンスの特性や知識、表現の仕方を確認する授業である。言葉や音楽からイメージを広げたり、表情で相手にイメージしたことを伝えたり、ゲームの要素を取り入れたりした授業を展開した。

オリエンテーション②では、仲間とのコンタクトゲームを取り入れた。このコンタクトゲームでは相手の存在を認め、自分の存在を相手に伝えるというコミュニケーションのベースになる力が身に付いた。さらに、このゲームを毎時間の準備運動に取り入れることで、仲間意識を育てることができた。また、生徒間のコミュニケーションが、表現する恥ずかしさを取り除いていった。

② 「走るー止まる」の運動課題

3時間目は、「走るー止まる」の運動課題からテーマを設定し、即興表現へとつなげる授業である。授業では、指導者の力量

不足でテーマ設定から即興表現に移る際に運動課題とテーマが結び付かず、うまくイメージすることができなかった。

運動課題とテーマを結び付ける段階で視覚や聴覚に訴える資料を準備し、いくつかのテーマの中から選択させ、イメージを共有した中から表現へ移行することで改善できると思われる。

③ スポーツ名場面集

4時間目の授業では、身近な生活や日常動作からスポーツを取り上げ、一番見せたい場面をイメージし、即興表現へとつなげる授業である。この授業は、身近なスポーツのため、即興表現までスムーズに展開することができた。即興表現では、「はじめ—なか—おわり」の流れに組み立て、一番見せたい場面をスローモーションや繰り返し表現することで変化と起伏をつけた表現につなげることができた。男子生徒の多いチームでは、ダイナミックな動きや細かな動作までアイデアにあふれた即興表現となった。

④ オープンマインド

この表現では、ペアが基本となり二人の手の間には、スポンジがあり、そのスポンジを介して相手を感じ、思いを伝え、気持ちと動きを一つにしていく表現である。生徒たちの真剣に取り組んでいる様子が印象的であった。

⑤ 簡単な発表会

学習2の「表したいイメージを一層深めて、変化と起伏のある『はじめ—なか—おわり』の簡単な作品に表現する」では、学習1で学習した即興表現を組み合わせて、簡単な作品を仕上げた。

「はじめ」のテーマは、「ふるさと・昔

の遊び」とした。「走る—止まる」の運動課題を意識して「子どもらしさ」を表現することができた。

「なか」のテーマは、「思春期・悩み・自我の目覚め」とした。ここでは、「オープンマインド」で、群れの動きと合わせて、中学生の「悩み」を表現することができた。

「おわり」のテーマは、「中学校で頑張ったこと・旅立ち」とした。ここでは、「スポーツ名場面集」を採用し、一番見せたい部分を誇張して演出するように工夫した。中学3年生の「旅立ち」を表現することができた。また、エンディングとして2時間目に学習したヒップホップを生徒全員で踊り、ポーズをとって最後を華やかにまとめた。

⑥ 発表会・まとめ

発表会では、照明効果とスポットライトを活用した。また、体育館フロアを発表会場とし、ステージを観客席にしたことで臨場感が生まれ、本格的な発表会場の準備ができた。発表会後の生徒の感想には、「最初は緊張したけど最後はノリノリでした。ダンスを通して自分の中のもう一人の自分を発見しました」、「すごく気持ち良かったです。高校生になってからも思いっきりダンスをしたいです」、「エンディングにおいて真ん中で踊って楽しかったです。自分の表現力がアップした気がしました」などダンスの特性に触れ、達成感で満たされた感想をたくさん生徒が書いていた。

(3) 成果・課題

ダンスは、生徒にとっても教師にとっても「楽しくて待ち遠しい授業」である。この言葉が思いついたのは、ダンスを楽しんでいる生徒の笑顔からである。ダンスは、生徒たちが持っている運動欲求を満たしてくれるか

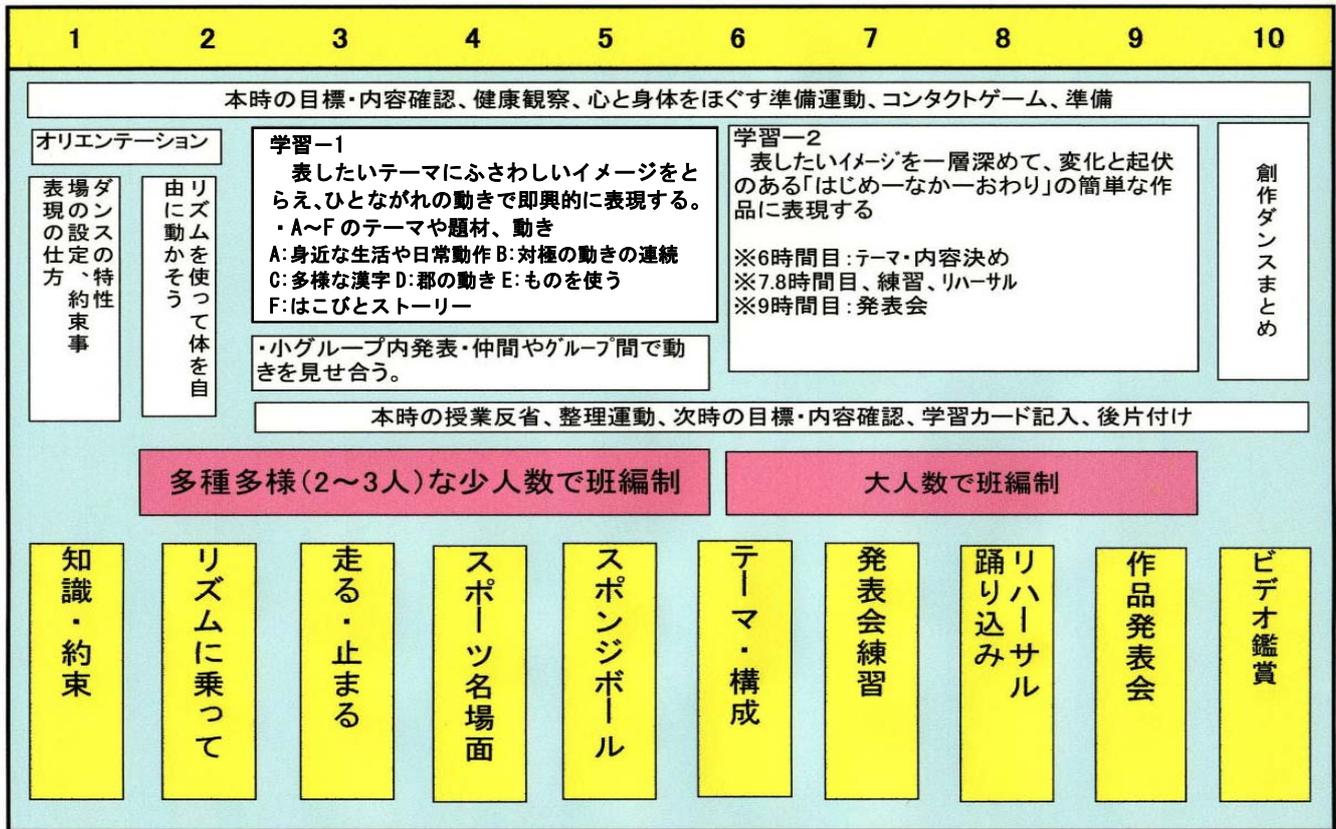
けがえのない運動だということを改めて感じることができた。「踊りたいけど、恥ずかしくて踊れない」、「好きだけどできない」そんなダンスへのイメージを持っていた生徒たちが輝きながら踊っている姿は、感動的であった。

3 研究成果の普及

今回の研究成果は、研究授業及び授業研究会を通し、天草郡市中体研の先生方と共有することができた。来年度は、武道とダンスの研修を深め、研究授業を中心に授業改善につなげていきたい。

4 今後の展望

平成 24 年度からのダンス必修化に伴い、各地でダンスの研究が進み、「新しいダンスの授業」が展開されることを期待したい。そのためには、新学習指導要領の目標・目的を理解し、レベルの高いダンスの授業が展開できるように日々、研修と研鑽に努めていきたい。



- 本時の学習
- (1) 目標 テーマにふさわしい表したいイメージを一層深めて、変化と起伏のある簡単な作品を発表する
- (2) 評価基準 A:ダイナミックに変化と起伏をつけた簡単な作品に表現して踊ることができる。
 B:変化と起伏をつけた簡単な作品に表現して踊ることができる。
- (3) 本時の展開

過程	学習活動	形態	能力	教師の指導と支援 (T1: 淀川、T2: 福田)		備考						
				予想される生徒のつまずきと長所	教師の支援、指導上の工夫							
つかも10分	1 挨拶・出欠確認・健康観察・授業の確認をする 2 心と体の準備運動 ・アイコンタクトゲーム(200)・・・柔軟性 ・アルプス一万尺(230)・・・リズムと柔軟性 3 本時の学習課題を把握する	一音	徹底	☆準備運動の目的や効果を理解し、積極的に心と身体をほぐすことができる。 ★各グループや声かけ、声かけて仲間とコミュニケーションをとることを恥ずかしがっている。	○音楽と教師の声かけてダンスの雰囲気をつくり、盛り上げる。(T1・T2) ●各グループで盛り上がるように指導者側で気づいた生徒に声をかける(T1・T2)	※アイコンタクトゲームの10人~12人でサークルをつくり、アイコンタクトで相手とコミュニケーションをとり、サークル内を何度も移動する。 ◎相手のダンステーマを呼びながら、声かけて相手とコミュニケーションをとり、サークル内を何度も移動する。						
みんなで創った作品を踊り込み、変化と起伏をつけて表現しよう ・全体と個人の目標を確認する。												
さくさく・ふかめる25分	4 発表会に向けての動きの確認を行う ・それぞれの班(二つの班)で動きや空間の使い方を確認する。 ・発表会全体の動きを確認する。 5 発表会を行い、ビデオで撮影する(約10分)	各 音	能 動	☆目標を意識して取り組んでいる。 ★変化や起伏、個や群の動き、空間の使い方などを意識して表現していない班がある。 ☆テーマにふさわしいイメージをとらえ発表することができる。 ☆楽しく取り組もうとしている。 ★動きに変化をつけて踊ることができない ★恥ずかしがって表現できない	○個人の目標を確認させる(T1) ●目標の補足をを行い、技能面を意識させる(T1) ○さらにダイナミックな動きができるように適宜指導する(T1・T2) ●技能面のポイントを確認し、指導する(T1・T2) ○まとめの中で評価する(T1・T2) ●仲間意識を持たせ、目標達成に向けて技能面のポイントを再確認し発表会を始める(T1)	・学習カード ・CDラジカセ ・音楽 ・ビデオ ※発表会の様子を撮影し、次時の10時間目にビデオ鑑賞する。						
<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 2px;">はじめ「走る・止まる」</td> <td style="width: 33%; padding: 2px;">なかものを使って</td> <td style="width: 33%; padding: 2px;">おわりスポーツ名場面</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">ふるさと、遊び</td> <td style="padding: 2px;">思春期、悩み 自覚の目的</td> <td style="padding: 2px;">頑張ったこと 未来への旅立ち</td> </tr> </table> <p>「走る止まる」の運動課題からテーマにふさわしいイメージで表現する</p> <p>スポーツを使ったお遊びの動きで自分の内面を表現する</p> <p>スポーツ名場面で行った見せたい場面を誇張して表現する</p>							はじめ「走る・止まる」	なかものを使って	おわりスポーツ名場面	ふるさと、遊び	思春期、悩み 自覚の目的	頑張ったこと 未来への旅立ち
はじめ「走る・止まる」	なかものを使って	おわりスポーツ名場面										
ふるさと、遊び	思春期、悩み 自覚の目的	頑張ったこと 未来への旅立ち										
まとめる15分	6 各組で感想をまとめ、発表する ・学習カードにまとめる ・発表する 7 整理運動 ・ストレッチを行う 8 まとめ ・教師の話	一音	徹底	☆目標を意識した感想を書いている。 ☆体の部位を意識して行っている ☆教師の話をよく聞き、次時への意識を高めている。	○まとめやすい学習カードを準備する ○一人一人の感想を把握する(T1・T2) ○リラックスした雰囲気をつくる(T2) ○本時のまとめと次時の確認を行う。(T1・T2)	・学習カード						